

## ■ 宣陽門院(觀子)

せんようもんいん  
平清盛没・・・1181 =

後白河天皇第6皇女。父から膨大な所領を譲渡されて権勢振るうも、後鳥羽院政の前に失速。

生。後白河天皇第6皇女。母は丹後局高階栄子。丹後局はもと後白河院近臣平業房の室であったが、のち後白河院に仕えて寵愛を受けて生んだ。

平氏滅亡・・・1185 = 4歳：

藤原秀衡没・1187 = 6歳：着袴，

奥州藤原滅亡1189 = 8歳：内親王・准三宮となる。

源頼朝上洛・1190 = 9歳：

臨濟宗始・・・1191 = 10歳：

鎌倉幕府始・1192 = 11歳：

宣陽門院の女院号を宣下される。

\*父後白河法皇から長講堂領をはじめ六条殿その他の膨大な所領を譲与される。長講堂は後白河法皇が御所六条殿の内に設けた持仏堂で、みずからの所領や古くからの皇室御料所を施入して成立し、荘園領主らの寄進によってしだいに増加していった。この年の段階で約90力所あり、のちの最盛時には180力所に及んだという。この経済力を背景に、宣陽門院は、母丹後局とともに権勢を誇り、同年の後白河法皇没後、朝廷で隠然たる勢力を保つ。

建久7年政変 1196 = 15歳：源頼朝が妻子を伴って上洛したときも、丹後局や宣陽門院に対して最も神経を使ったようである。\_この頃

・・・1197 = 16歳：

・・・1198 = 17歳：

源頼朝没・・・1199 = 18歳：

梶原景時征討1200 = 19歳：

・・・1202 = 21歳：

執権政治始・1203 = 22歳：

新古今集・・・1205 = 24歳：

、局・女院と結んで頭角を現してきたのは土御門通親で、

関白九条兼実を失脚させて、朝廷の実権を掌握することに成功した。ようやく成長した後鳥羽天皇は、

\_位を土御門天皇に譲りただちに後鳥羽院政を開始した。女院の勢力は絶頂に達する。

皇子雅成親王を猶子とし、長講堂領も実質上、院自身の管領下に置いてしまった。

土御門通親が死去するに及び、さすがの丹後局・宣陽門院も後鳥羽院政の前に実権を失って行き、

\*出家して尼となり、法名を性円智と名乗る。

・・・1208 = 27歳：

北条霸権確立1213 = 32歳：

・・・1217 = 36歳：

承久の乱・・・1221 = 40歳：後鳥羽上皇を中心に起された承久の乱により、上皇方の所領数千力所が幕府方に没収され、長講堂領も上皇関係の所領としてこのなかに含まれていたが、

・・・1222 = 41歳：\*幕府は改めてこれを宣陽門院に返進し、ここに女院は再び旧領を取り戻すことができた。

北条政子没・1225 = 44歳：

公家將軍始・1226 = 45歳：養女長子(近衛家実の娘)を後堀河天皇に入内させ(鷹司院)，

御成敗式目・1232 = 51歳：

・・・1235 = 54歳：

九条頼嗣將軍1244 = 63歳：

北条時頼執権1246 = 65歳：後深草天皇が即位すると、\_父後嵯峨院の希望で、

・・・1251 = 70歳：\*長講堂領のすべてを鷹司院を通じて、後深草天皇に伝領し、

皇族將軍始・1252 = 71歳：伏見殿において\_没した。

以後、長講堂領は幼少の天皇にかわって院が管領し、1267年に至ってようやく院から後深草上皇に譲渡され、持明院統の重要な経済的基盤となった。